

2021年度

学校法人トラベルジャーナル学園

事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

○学園理念

本学園は、基本理念を「ホスピタリティ」に置きグローバルな教育サービス事業の展開を通じて地球社会の平和と繁栄に寄与します。

○教育目標

1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育
「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育
職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、企業等との連携を通して習得する。
3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育
時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を習得する。
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育
環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

(2) 学校法人の沿革

- 1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校
- 1975年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる
- 1977年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる
- 1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、
トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
- 1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校
太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる
- 1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる
- 1986年 大阪府より専修学校として認可され、
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
アメリカにシアトル校開校
- 1990年 夜間部旅行本科開設
- 1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる
海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる
- 1992年 オーストラリアにメルボルン校開校
- 1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更
- 2001年 東京日本語文化学校開校
(公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる
- 2002年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

- 2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更
- 2011年 大阪ブライダル専門学校開校
- 2012年 オーストラリアのメルボルン校閉校
- 2013年 東京ブライダル専門学校開校
 東京日本語文化学校閉校
- 2018年 大阪ホテル専門学校開校
 大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校
- 2019年 台湾に台北校開校

(4) 学校・学科等の学生数の状況 (2021年4月現在) (単位：人)

学校名・学科名	入学定員数	収容定員数	現員数	摘要		
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	<昼間部> 観光科	40	80	1年	26	
				2年	37	
				小計	63	
	ホテル科	60	120	1年	39	
				2年	58	
				小計	97	
	テーマパーク科	60	120	1年	51	
				2年	55	
				小計	106	
	総合英語科	20	40	1年	7	
2年				19		
小計				26		
エアライン科	80	160	1年	71		
			2年	105		
			小計	176		
鉄道科	40	80	1年	51		
			2年	44		
			小計	95		
昼間部小計	300	600	1年	245		
			2年	318		
			小計	563		
<夜間部> テーマパーク科	—	20	1年	—	※1	
			2年	18		
			小計	18		
夜間部小計	—	20	1年	—		
			2年	18		
			小計	18		

東京ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル科	120	240	1年	102	
				2年	127	
				小計	229	
	<夜間部> ブライダル科	—	20	1年	—	※1
				2年	8	
				小計	8	
ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	120	240	1年	70	
				2年	71	
				小計	141	
	<夜間部> 観光学科	20	40	1年	3	
				2年	16	
				小計	19	
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	90	180	1年	69	
				2年	60	
				小計	129	
	<夜間部> ブライダル学科	40	80	1年	20	
				2年	22	
				小計	42	
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	170	340	1年	89	
				2年	153	
				小計	242	
	<夜間部> ホテル学科	60	120	1年	23	
				2年	49	
				小計	72	
大阪テーマパーク・ ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80	160	1年	66	
				2年	66	
				小計	132	
	<夜間部> テーマパーク学科	40	80	1年	19	
				2年	28	
				小計	47	
アメリカ・台湾 留学中	東京	—	—		30	
	大阪	—	—		34	
設置校 総合計				1年	706	
				2年	936	
				留学中	64	
				合計	1,706	

※1. 1年生の募集を停止した学科

(5) 施設等の状況

①主な施設設備の状況は次のとおりである。

【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m ²	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m ²	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	565.12 m ²	1,431,803,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m ²	1,434,105,000 円	
大阪校3号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m ²	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原 35-2 他	3,279.00 m ²	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-417	56.65 m ²	4,158,256 円	
合計		5,926.13 m ²	6,375,146,785 円	

【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校A館	3,994.75 m ²	1,358,005,182 円	
東京校B館	1,149.58 m ²	443,089,772 円	
大阪校1号館	3,063.63 m ²	1,073,055,766 円	
大阪校2号館	2,520.04 m ²	533,996,533 円	
大阪校3号館	2,894.79 m ²	471,248,198 円	
湯河原 構築物	76.76 m ²	27,244,361 円 6,900,457 円	
合計	13,699.55 m ²	3,913,540,269 円	

【収益事業用土地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミールCity 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	229.00 m ²	92,854,868 円	
ドミールCity 東中野Ⅱ	東京都中野区東中野 3-13-11	416.53 m ²	669,602,362 円	
コーケン関内ビル	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	403.56 m ²	335,450,000 円	
合計		1,049.09 m ²	1,097,907,230 円	

【収益事業用建物】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミールCity 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	1,127.06 m ²	149,093,146 円	
ドミールCity 東中野Ⅱ	東京都中野区東中野 3-13-11	1,726.26 m ²	730,617,730 円	
コーケン関内ビル 構築物	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	1,835.41 m ²	96,426,300 円 1,562,045 円	
合計		4,688.73 m ²	977,699,221 円	

②主な施設設備の取得及びその進捗状況

特になし

2. 事業の概要

<東京>

(1) 教育の実績

【ホスピタリティ ツーリズム専門学校】

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、各科に特化した業界英語を強化しました。

また、タブレットと授業支援ツールアプリ「ロイロ」を全科導入しました。記録や情報収集が手軽にできるため、受動的な学びではなく学生自身が考え行動する主体的な学び「アクティブラーニング」に大変効果的でした。従来、学生ごとの学力差が大きく見受けられる英語においては、オンライン英会話やTOEIC ポートフォリオ（習熟度チェック）の導入によってそれぞれの学生に合わせた学習内容を提供しました。

[企業との連携や課外活動等]

- 1年生全員に対し、例年、入学後の4月に実施していた入学者ホスピタリティ研修を、新型コロナウイルスの影響により延期し、11月に学外日帰にて実施しました。今年度も各科ごとにそれぞれの業界見学を行い、自分が目指す業界の仕事内容や自分自身がどうなりたいたいのかをよりイメージすることが出来ました。

《観光科》

- 12月に旅程管理実務研修として、添乗員の資格を取得するための研修（浅草、台場）を実施しました。添乗員の誘導方法などを学び、添乗員としての実務に触れ、職業選択の参考や職業観が深まりました。

《ホテル科》

- 1年生全員がホテル企業8社で、夏休み・冬休み期間に、それぞれ企業実習を行いました。現場実習を通して、職業観の育成や企業理解を深めることができ、就職活動の準備となりました。

《テーマパーク科》

- 1年生全員がテーマパーク企業13社で、夏休み・冬休み期間にそれぞれ企業実習を行いました。また、業界研究として、ディズニーリゾートの課外活動を11回実施しました。ポートフォリオを導入し、学生自身が習熟度を自己確認する仕組みを構築しました。

《エアライン科》

- 11月に㈱JAL スカイの企業見学を行いました。普段見ることが出来ないバックヤードでの業務を見学することができ、目指す業界の理解が深まりました。1年生が12月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト（グランドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト）を実施しました。航空会社で現在働いている方も審査員として参加してくださり、客観的な評価をいただきました。また、その内容が「週刊トラベルジャーナル」誌にも掲載されました。

《総合英語》

- 1・2年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。今年もコロナ禍

の影響により審査員や観客はいませんでしたが、Youtube で保護者や教員の方に配信し、留学前後のレベルアップを感じていただき、高評価をいただきました。

《クルーズコース》

- ゆたか倶楽部と法人契約を締結し、1年間の講師派遣による業界人からの授業を通じて、業界の理解、職業観の育成を行いました。

《鉄道科》

- 1年生が、4月より鉄道会社10社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しました。11月には、東日本旅客鉄道総合研修センターのご協力のもとに安全体験見学を行いました。就職に向けて安全への意識を高めることが出来ました。

【東京ブライダル専門学校】

2年間で「成果発表課題解決型学習」を通じて、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。また、ホスピタリティ ツーリズム専門学校同様、英語、手話検定対策の授業を1年生に導入しグローバル化、コミュニケーション能力の強化をしました。就職指導においては、昨年に引き続き企業の人事担当者をお招きした交流会を本校内で実施し、求人の安定確保に努めました。

[企業との連携や課外活動等]

- 成果発表「模擬人前挙式（1年生）」「セールススキルコンテスト（2年生）」を実施しました。実際の婚礼を企画実施し、成功をおさめたことにより、学生の更なる意欲向上に繋がりました。
- (株)テイクアンドギヴ・ニーズと連携し、第一線で活躍されている社員を講師として派遣していただき、毎週1回、放課後に特別授業を実施しました。自身の経験をもとに結婚式の魅力やプランニングについて実践に即した内容を直接指導いただくことで、学生の業界への理解を深めることができました。

(2) 主な資格の取得実績 ※東京2校合計

資格名称	取得者数
手話技能検定 3 級	15 名
手話技能検定 4 級	213 名
みんなの外国語検定 ゴールド	11 名
みんなの外国語検定 シルバー	45 名
みんなの外国語検定 ブロンズ	201 名
TOEIC 900 点以上	2 名
TOEIC 800 点以上	10 名
TOEIC 700 点以上	15 名
TOEIC 600 点以上	22 名

TOEIC 500 点以上	41 名
国内旅行業務取扱管理者	15 名
サービス介助士	12 名
ホテルビジネス実務検定ベーシック 2 級	35 名
フォーマルスペシャリスト検定準 2 級	18 名
AFS フラワースタ일리スト検定	93 名
メイクセラピー検定 2 級	86 名

※本年度は、新型コロナウイルスの影響で、例年実施していたレストランサービス技能検定 3 級（学科／実技）、ブライダルコーディネーター技能検定 3 級ほか検定試験の一部を受検中止、延期としました。

（3）奨学金の実績（2 校合算）

【2021 年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 ※対象者：14 名
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度
- ② 指定校推薦入学選考 ※対象者：71 名
指定高校からの推薦入学生に対する奨学金
- ③ AO 入学選考 ※対象者 238 名
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ AO 選抜生制度 ※対象者：21 名
AO 合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 ※対象者：56 名
英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度
- ⑥ 家族推薦奨学金 ※対象者：19 名
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 ※対象者：30 名
1 年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

私費外国人留学生学習奨励費：1 年次対象者 9 名、2 年次対象者 16 名
日本語能力検定 1 級資格取得奨学金：1 年次対象者 1 名、2 年次対象者 6 名

（4）就職の実績

- 新型コロナウイルスの影響による採用人数の減小、厳選採用に対処すべく、校内での就職セミナーを実施しました。また、オンラインを含めた学内説明会や WEB 面接

対策などを実施し、学生ごとに指導方法を変えて、より個に特化した指導の強化に努めました。

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	東京ブライダル 専門学校
就職希望者数	277 名	118 名
就職決定者数	267 名	117 名
内 関連業界就職者	221 名	112 名
その他業界就職者	46 名	5 名

(5) 学生募集 (2022 年度生) ※昼間部のみ

	学 科	入学定員	入学生	充足率
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	観光科	40 名	19 名	47.5%
	ホテル科	60 名	52 名	86.7%
	テーマパーク科	60 名	41 名	68.3%
	総合英語科	20 名	11 名	55.0%
	鉄道科	40 名	50 名	125.0%
	エアライン科	80 名	57 名	71.3%
	合 計	300 名	230 名	76.7%
東京ブライダル 専門学校	ブライダル科	120 名	87 名	72.5%
	合 計	120 名	87 名	72.5%
東京校合計		420 名	317 名	75.5%

(6) その他

- 学生用パソコンの入れ替え購入等により、私立専修学校教育環境整備費助成事業の「教育設備装置整備助成金」として 4,206 千円を受給することができました。
(ホスピタリティ ツーリズム専門学校)
- 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進）」として、400 千円（1 校 200 千円）を受給することができました。
- 職業教育の質の向上を図り、多くの専門人材を育成する教育の推進を目的とした「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」として、1,204 千円を受給することができました。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校観光科、東京ブライダル専門学校ブライダル科)

<大阪>

(1) 教育の実績

【ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪】

アフターコロナの新しい観光業界を見据え、観光産業の復活を支える人材の輩出を目指し、企業や行政機関のご協力を得た産学連携プログラムや、企業講演、企業研修を実施しました。具体的には、地方創成観光企画、オンラインツアーの企画催行、鉄道現場研修やオンラインでの空港研修などを実施し、より実践に近い体験型教育を取り入れました。

また、業界から求められる、他者と柔軟に協働し、自発的に課題を見つけ解決できる思考力を養うため、チームで取り組むプロジェクト型の授業を全科で展開しました。

[企業との連携や課外活動等]

<<旅行科>>

- (一社) 全国農協観光協会との産学連携により、和歌山県紀ノ川市及び紀美野町を舞台に、地域創成を目的としたツアー企画の造成・提案を行いました。提案した企画は協議後に商品化され、2022年秋に協会会員へ向けて販売される予定です。

<<鉄道サービス科>>

- 南海電気鉄道(株)と連携して、一般では見学することができない千代田工場の見学会を行いました。工場の概要の説明、塗装・修繕・検査などの各部門を見学することで、鉄道業界を支える仕事を学ぶことができ、有意義な活動となりました。

<<エアライン科>>

- (株)ジェイエアと連携して、オンラインでの職種紹介、おもてなし講座を実施しました。業務内容や、エアライン業界に求められる、おもてなしについて深く学ぶことができ、就職に対する士気を高めることができました。

【大阪ブライダル専門学校】

職業教育と人間教育を軸とし、産学連携授業や時代のニーズに即した授業、企業実習を通し、即戦力を身につけるカリキュラムを実施しました。各企業のご協力を得て業界動向を講話いただき、また実習での経験より、柔軟な思考・発想力を活かして考察を深めることができました。

また、人が集まるのが難しい時代だからこそ、人が集う結婚式の価値を見出すことができ、それを発信する授業を複数展開することで業界人としてあるべき姿を自分事として捉える人材育成に繋がりました。

[企業との連携や課外活動等]

- (株)クレ・ドゥ・レーブとの産学連携として、ブライダルフェアを企画・提案し、オンラインにてプレゼンテーションを実施しました。企画部の方より集客、発信方法等を学び、接客スキルに加え、マーケティングの知識を深めることができました。
- 2年間の集大成として「ブライダル発表会」を実施し、事前に撮影した動画作品をブライダル企業の方々を中心に約100社に配信しました。「SDGs」をテーマに、プランナー

コースはプレゼンテーション、ドレスコーディネーターコースはドレス製作動画を発表しました。新たな着想から今後に期待が持てるなどの評価を頂戴しました。

【大阪ホテル専門学校】

ホテル業界の環境変化や多様なニーズに柔軟に対応できる人材育成のため、ホテリエとしてのホスピタリティ、基礎的なスキルに加え、IT化が進むホテル業界で活かせるITスキルを習得させるカリキュラムを実施しました。また、語学力、イベント企画・運営能力など、幅広い知識を得られる環境を醸成し、特に語学に関しては、全学生が実践的な英会話力を身に付けられるようオンライン英会話を導入しました。

コロナ禍におけるオンライン授業が難しい実技科目では、企業の協力のもと、新たな教育コンテンツ開発に取り組み、オンデマンド型の授業を実施し、繰り返し学習により学生の学習意欲を向上させることができました。

[企業との連携や課外活動等]

- 一流ホテルとタイアップして、ホテルマナー研修を実施しました。宴会研修、業界講演、施設見学、テーブルマナー講習などの研修を通し、スタッフ／お客様の双方の立場を経験することで、より実践的な研修となりました。
協力ホテル：ハイアットリージェンシー大阪、スイスホテル南海大阪、
リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
- ウェスティンホテル大阪とタイアップし、宿泊販売促進を目的とした企画・立案を行いました。企業の様々な課題を理解し、その解決に向け学生達が主体的となって企画を立案・発表、ホテルの方々による審査も行われました。プロの観点からアドバイスをいただき、より教育効果の高い授業となりました。
- ザ・リッツカールトン大阪とタイアップし、ロビーフロアの装飾の立案に挑戦しました。学生らしい自由なアイデアには、審査員の方々からも高い評価をいただくことができ、学生達にとっても満足度の高い授業となりました。

【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

テーマパーク科ではオンライン授業を有効活用し、マスクを外した「表情トレーニング」に力を入れました。また新たな試みとして、学生主体の動画作成授業を取り入れた他、卒業制作（表現力発表会）では、作品演出も学生自身で実施することにより、主体性を高める教育を行いました。

ダンス・エンターテイナー科では、コロナ感染対策のため集団での発表は控えましたが、個人スキル向上に力を入れたカリキュラムに変更することにより、卒業生全員が厳しい競争を勝ち抜き、エンターテイナーとして進路が決定しました。

[企業との連携や課外活動等]

- レゴランドジャパンの施設見学会を実施し、事前にオンラインで人事担当者とOBに

- よる会社説明会を実施しました。実際に働いている先輩の体験談は非常に参考となり、その働く姿を見学することで、テーマパークで働くイメージを掴むことができました。
- 鈴鹿サーキットとタイアップし、3名の方に来校いただきエンターテイメントショーを学内で開催しました。業界の方を前にしての公演は、自信と課題を得ることができました。

(2) 主な資格の取得実績 ※大阪4校合計

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	1名
みんなの外国語検定シルバー	2名
みんなの外国語検定ブロンズ	11名
サービス介助士	33名
TOEIC 900点以上	2名
TOEIC 800点以上	5名
TOEIC 700点以上	18名
TOEIC 600点以上	14名
TOEIC 500点以上	36名
全国手話検定3級	7名
全国手話検定4級	8名
全国手話検定5級	85名
総合旅行業務取扱管理者	2名
国内旅行業務取扱管理者	21名
ビジネス能力検定ジョブパス2級	3名
ビジネス能力検定ジョブパス3級	283名
アマデウスシステム検定 Specialist	13名
秘書技能検定2級	4名
色彩検定2級	11名
色彩検定3級	28名
ホテルビジネス実務検定 ベーシック2級	77名
サービス接客検定2級	6名
ファミリーアドバイザー検定	20名

(3) 奨学金の実績 (4校合算)

【2021年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 ※対象者：67名

筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金

- ② 指定校推薦入学選考 ※対象者：15名

指定高校からの推薦入学生に対する奨学金

- ③ AO入学選考 ※対象者 301名
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ AO選抜生制度 ※対象者：49名
同選抜において優秀なプレゼンテーションを行った入学生に対する奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 ※対象者 63名
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金 ※対象者：27名
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【2021年度2年次生に対する奨学金】

ライセンス奨学金対象者 ※対象者：190名
資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 ※対象者：34名
1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年次対象者4名
指定校推薦入学選考：1年次対象者2名
日本語資格取得奨学金：1年次対象者9名、2年次対象者3名
私費外国人留学生学習奨励金：1年次対象者42名、2年次対象者24名

(4) 就職の実績

	ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校大阪	大阪ブライダル 専門学校	大阪ホテル 専門学校	大阪テーマパーク ・ダンス専門学校
就職希望者数	81名	78名	178名	91名
就職決定者数	81名	75名	166名	90名
内 関連業界就職者	66名	61名	137名	81名
その他業界就職者	15名	14名	29名	9名

(5) 学生募集 (2022年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	100名	49名	49.0%
	合 計	100名	49名	49.0%

大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	80名	70名	87.5%
	<夜間部> ブライダル学科	40名	13名	32.5%
	合 計	120名	83名	69.2%
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	150名	77名	51.3%
	<夜間部> ホテル学科	60名	15名	25.0%
	合 計	210名	92名	43.8%
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80名	71名	88.8%
	<夜間部> テーマパーク学科	40名	14名	35.0%
	合 計	120名	85名	70.8%
大阪校合計	<昼間部>	410名	267名	65.1%
	<夜間部>	140名	42名	30.0%
	合 計	550名	309名	56.2%

(6) その他

- 私立専修学校専門課程の教員研修と生徒の修学支援に係る体制整備を目的とした「質保証・向上補助金」として、1,141千円を受給することができました（ホスピタリティツーリズム専門学校大阪、大阪ブライダル専門学校、大阪ホテル専門学校、大阪テーマパーク・ダンス専門学校）
- （一社）日本旅行業協会主催の「学生と旅行会社で作る海外旅行企画コンテスト」に6チームが参加し、1チームがグランプリ賞（作品名：～幌馬車グランピングで大人も子供もワクワク～家族で作る夏の思い出/アメリカ・ユタ州7日間の旅）を受賞しました。（ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪）

3. その他の主な事業

1) グローバル化の推進

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で年間学費98万円にて、米国・シアトル、又は台湾へ1年間長期留学できる制度を導入しています。この長期留学により、語学力(英語、中国語)・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。

<シアトル長期留学制度>

2021年度は米国シアトルにある提携校2校を受入先として、64名の学生を送り出しました。

【留学から帰国した学生のTOEIC結果】

	東京	大阪	全体
TOEIC平均点	677点	648点	661点
渡航前の平均点	441点	359点	397点
平均上昇点	236点	289点	264点
最高得点	910点	840点	910点
最高上昇点	405点	505点	505点

<台湾長期留学制度>

新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。

2) 職業実践専門課程

ホスピタリティ ツーリズム専門学校 観光科

東京ブライダル専門学校 ブライダル科

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪 観光学科

大阪ブライダル専門学校 ブライダル学科

4校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。東京校においては観光科以外の全学科も認定申請に向けて準備を進めています。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

3) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度(通称:高等教育無償化制度)」の対象校として、本学園が設置する全学校(東京校2校、大阪校4校)が認定されており、東京校117名(授業料減免額45,020,700円)、大阪校168名(授業料減免額68,782,300円)に修学支援を行いました。

4) SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

各学科での学びに加え、国際問題、環境問題、人権問題などを通して、SDGs の担い手を教育の現場から育成することが求められています。その為には、まずは教職員が SDGs に関する理解を深めるとともに、学校教育を通じて学生への指導と浸透の為の活動に学園全体で取り組んでいます。

5) 外部監査人による会計監査

内部監査については定期的に実施しておりますが、学校法人会計や関連法規等に即した適正な会計処理が行われているかを外部の第三者の専門家（公認会計士）にチェックして頂くことで、学園及び学校としての財務の健全性を確保し、学生・保護者へ安心して学ぶことができる学校として認知してもらい、外部監査人による会計監査を昨年引き続き実施しました。

6) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミールCity 東中野」、「ドミールCity 東中野Ⅱ」を外部業者への一括賃貸方式で運営し、事業用賃貸ビルとして取得した「コーケン関内ビル」を法人向けに賃貸をしております。

3棟での賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

7) 特定公益増進法人の認定

本学園設置校の在校生への奨学金支給を主な目的として、寄付者が税制上の優遇措置を認められる「特定公益増進法人」の認定を2021年10月に受けました。本学園の学校教育に賛同される方に広く寄付金を募り、一般の方の寄付金、及び卒業生からの同窓会会費の一部を在校生への「同窓会奨学金」として活用していきます。

4. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は27億3,775万円、予算比で4,792万円減少し、事業活動支出は24億5,625万円、予算比で4,881万円増加しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は2億8,151万円、予算比で9,674万円の減少となりました。

《教育活動収支》

教育活動収入は26億3,853万円、予算比で3,820万円減少し、教育活動支出は24億4,067万円、予算比で3,323万円増加しました。その結果、教育活動収支差額は1億9,787万円、予算比で7,143万円減少しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、新型コロナウイルスの影響より入学者数が予測数より減少したため、24億8,603万円となり、予算比で4,335万円減少しました。
- 2) 手数料は、入学検定料において受験者数が予測数より減少したため、1,476万円となり、予算比で451万円減少しました。
- 3) その他雑収入は、航空業界からの被出向者受入による産業雇用安定助成金を申請したため、1,755万円となり、予算比で854万円増加しました。
- 4) 人件費は、期末業績賞与を支給したため、10億850万円となり、予算比で5,081万円増加しました。
- 5) 教育研究経費・管理経費は、校舎修繕や全館の抗菌コーティングの実施により修繕費や報酬委託手数料が増加しましたが、新型コロナウイルスの影響により国内外での課外活動や各種イベント、学生募集における高校訪問ガイダンスが実施できなかったため、合計14億2,062万円となり、予算比で2,912万円減少しました。
- 6) 徴収不能額等は、大阪校での2016年度以前の未納学費うち回収不能額を計上したため、1,154万円となりました。

《教育活動外収支》

教育活動外収入は9,489万円、予算比で405万円減少し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は9,489万円となりました。

《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は2億9,276万円、予算比で7,548万円減少しました。

《特別収支》

特別収入は433万円、予算比で567万円減少し、特別支出は予算比で1,558万円増加した結果、特別収支差額は▲1,125万円、予算比で2,125万円減少しました。

② 貸借対照表の状況

教育研究用機器備品は、東京校でのオンライン面接用の防音BOX型個別ブースの設置などにより 458 万円増加しました。建設仮勘定は国内留学研修用施設の取得費用の一部を支出したことにより 2,832 万円増加しました。未収入金は、東京校での 2022 年 3 月退職者の私学退職社団交付金収入、及び大阪校での 2021 年度大阪府私立専門学校授業料減免補助金を計上したため、2,528 万円増加しました。前受金は、学生数の減少に伴う次年度学費の入金が減少したため、2 億 2,862 万円減少しました。

③ 収益事業の状況

ドミール City 東中野、ドミール City 東中野Ⅱ、コーケン関内ビルの 3 棟の賃貸事業に関わるものです。売上高は 1 億 2,758 万円、販売費及び一般管理費は 7,596 万円、営業外収益は 36 万円となりました。その結果、経常利益は 5,198 万円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算式	2021年度	全国平均※2	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	90.9	79.7	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	36.9	42.3	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{事業活動収入}}$	51.9	48.7	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産 ※1}}$	8.7	22.0	低い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 2019 年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）